城西大学附属城西中学高等学校
校長　斉藤　栄

新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。
そして、在校生のみなさん進級おめでとう。新クラスの友人や教室を見るまでは、実感が伴わないことと思います。先日、教職員は会議を開催し新年度のスタートに向けた様々な準備をしました。
先が予測できない状況にあって、生徒の皆さん、保護者の皆さまも同様に、学習の遅れが気になり、やりたい活動も出来ず困惑していることと思います。

今、考えるべきこと、とるべき行動は、それぞれの立場でできる感染予防です。
社会を守り、個人を守ること、その責任を果たすために、休校とし、生徒、教職員ともに自粛をお願いします。

生徒の皆さん、感染広がりに対し、自分が出来ることを考え、感染予防を意識しましょう。
様々な自粛行動や医療関係者の人々に対し、感謝しましょう。自分の行動を制限することで、感染を拡げないよう努め、互いに他者を思うことが、自分自身の感染予防にも繋がります。
自粛が"我慢"ではなく、感染拡大を阻止する活動に積極的に参加していると考え生活してください。

感染予防に限らず、各自が、今できることの中から、やるべきこと、大切なことを見つけ取り組むようにしてください。
「わが実力の不十分を知ることこそ、わが実力の充実なれ」という言葉があります。
学校での新たな学びが止まっていることをチャンスと考え、これまでの自分を振り返り、不十分であったものを自分のものとするよう時間を使ってください。
この時期の受験生は、夏以降の本格的な受験勉強に備え、基礎力を固めます。既習内容の復習は個々で進められるものです。後で、４月の自分の努力に感謝できる日が来るよう、頑張ってみてください。

また、悪い習慣は簡単に身につき、それを修正することに多くの時間が必要となります。
まずは規則正しい生活をこころがけましょう。感染予防に手洗い、うがい、マスク着用は欠かせませんが、食事と睡眠時間に気をつけ、免疫力を落とさないよう注意してください。
毎日の起床、勉強、就寝時間を固定し、読書や家の手伝いなど良い習慣を維持してください。
学習は、やらなければ新たな力が付かないだけでなく、これまで身についていたものを失うことになります。授業進度が遅れることより、退化することを恐れてください。

５月以降に計画していた行事を見直すことによって、４月の授業日数を無理なく補填しますので、心配しないでください。例年実施しているいくつかの行事は中止せざるを得ないものもありますが、できるかぎりの工夫により、皆さんの学校生活を充実させるよう教職員も努力していきます。保護者の方々にもご理解、ご協力をお願いすることが多くなるかと思いますが、まずは、生徒諸君が始業式に元気な姿で登校してくれることを待ち望んでいます。